

決算説明会

2019年 タダノは創業100周年を迎えます。

2019年5月
株式会社タダノ

TADANO LTD.

節目の年

- 創業100周年
- 香西工場稼働開始
- Demag買収

- LE世界No.1
- 海外売上高比率80%
- 平時営業利益率20%

2

中計(17-19)と中間目標との乖離

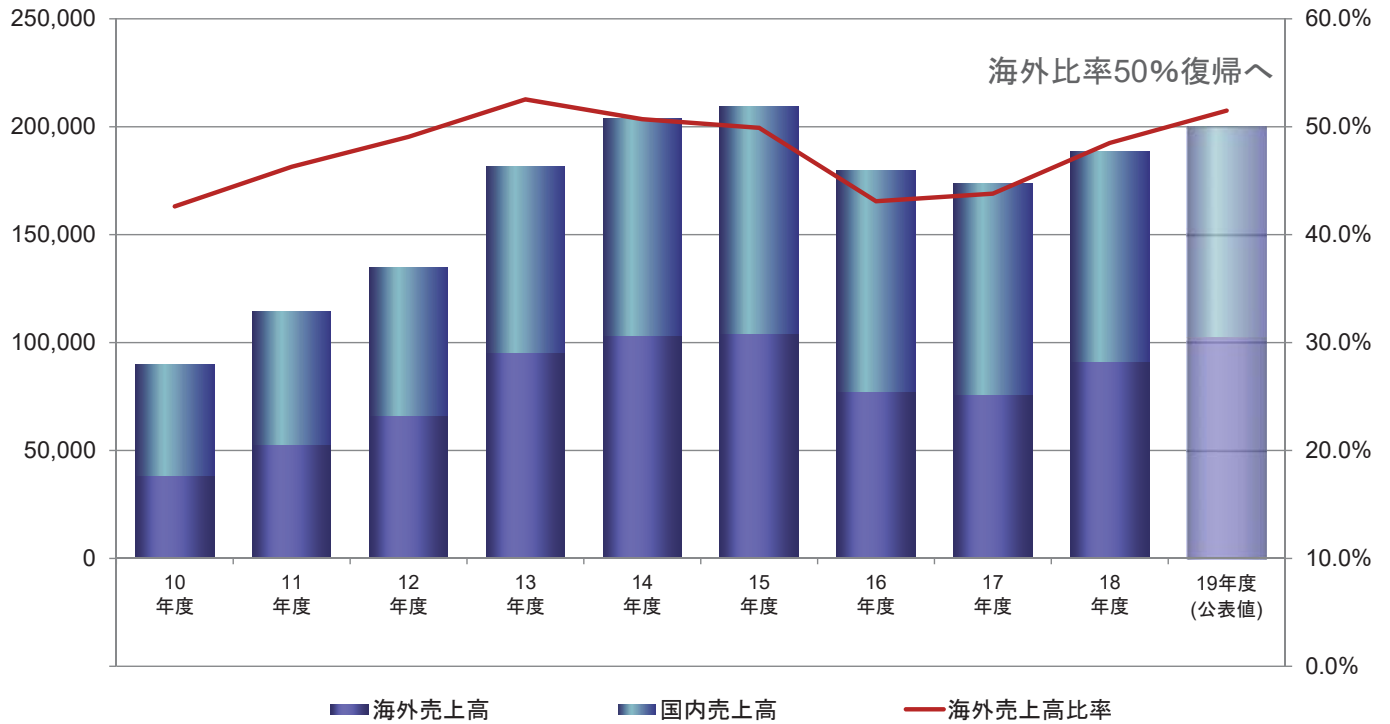
中計(17-19)最終目標に対し、売上・海外比率・利益率で苦戦

	17年度	18年度	19年度 公表値	19年度 中計目標	...	22年度 中間目標
売上高	1,737億円	1,884億円	2,000億円	2,400億円		3,000億円
日本向け	975億円	913億円	970億円	960億円		1,000億円
海外向け	761億円	970億円	1,030億円	1,440億円		2,000億円
海外売上高 比率	43.8%	48.5%	51.5%	60.0%		66.7%
営業利益	155億円	158億円	175億円	360億円		500億円
営業利益率	8.9%	8.4%	8.8%	15.0%		16.7%
たな卸し資産 回転率	3.2回転	3.0回転		4.8回転		
ROA	6.5%	6.3%		13.0%		

3

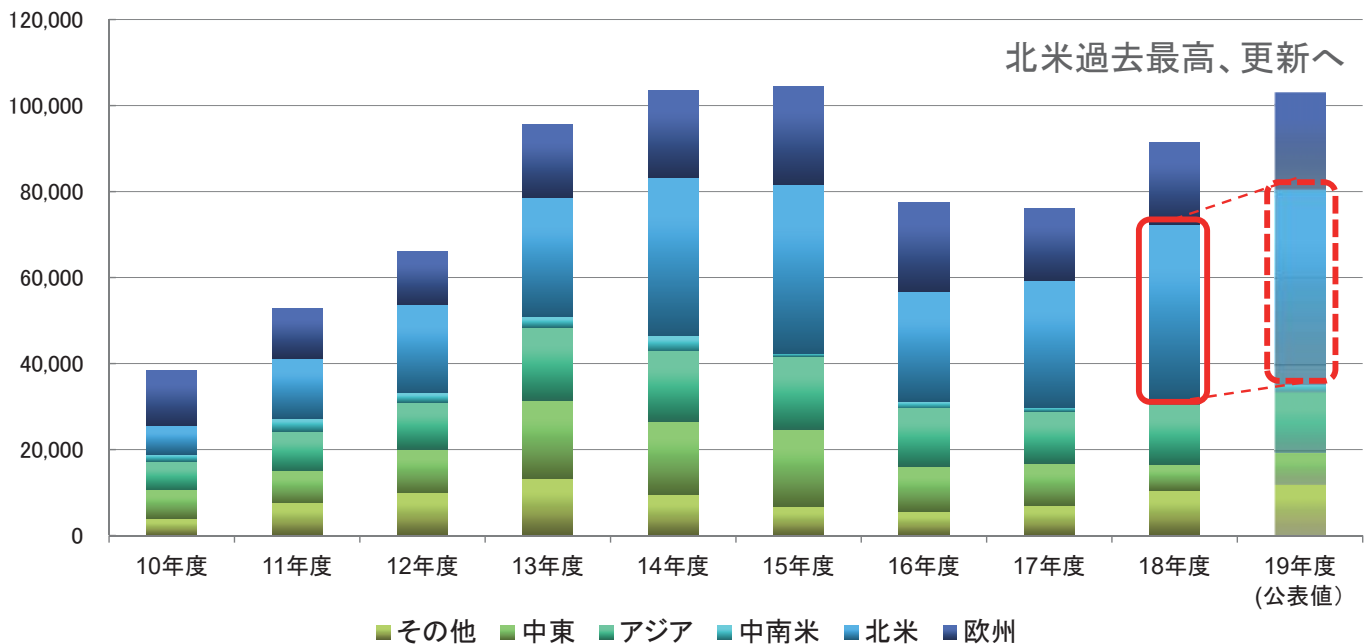
売上高(百万円)

海外比率



海外地域別売上高推移

売上高(百万円)

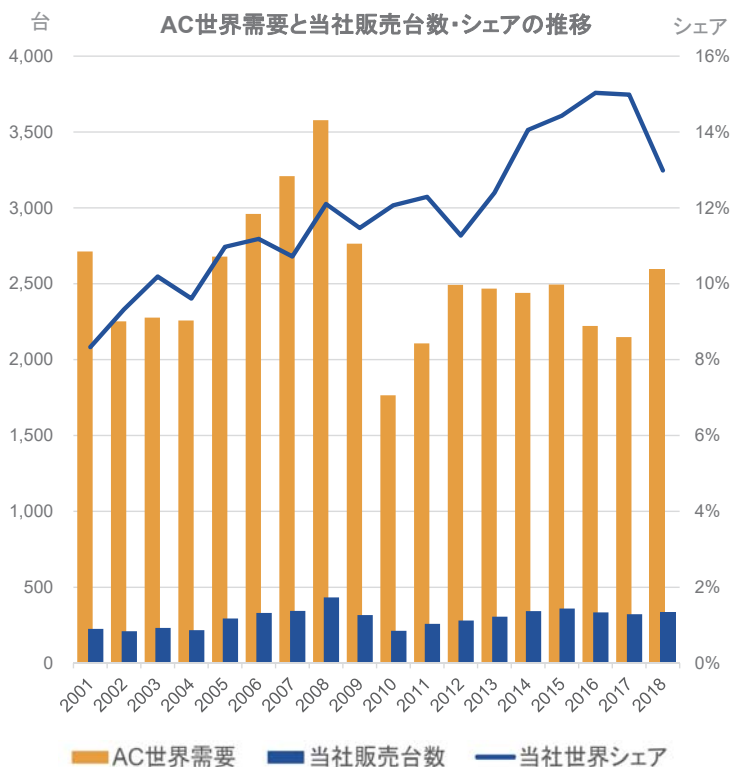


15年度 14.8% ⇒ 18年度 8.4%

- 原価率：3.1%ポイント悪化(69.9%⇒73.0%)
 - 機種構成
 - 付加価値分価格転嫁できず
 - 戦略的価格
- 販管費率：3.4%ポイント悪化(15.3%⇒18.7%)
 - 絶対額で32億円増加(319億円⇒351億円)
その内、成長投資 29億円

6

欧州事業の苦戦



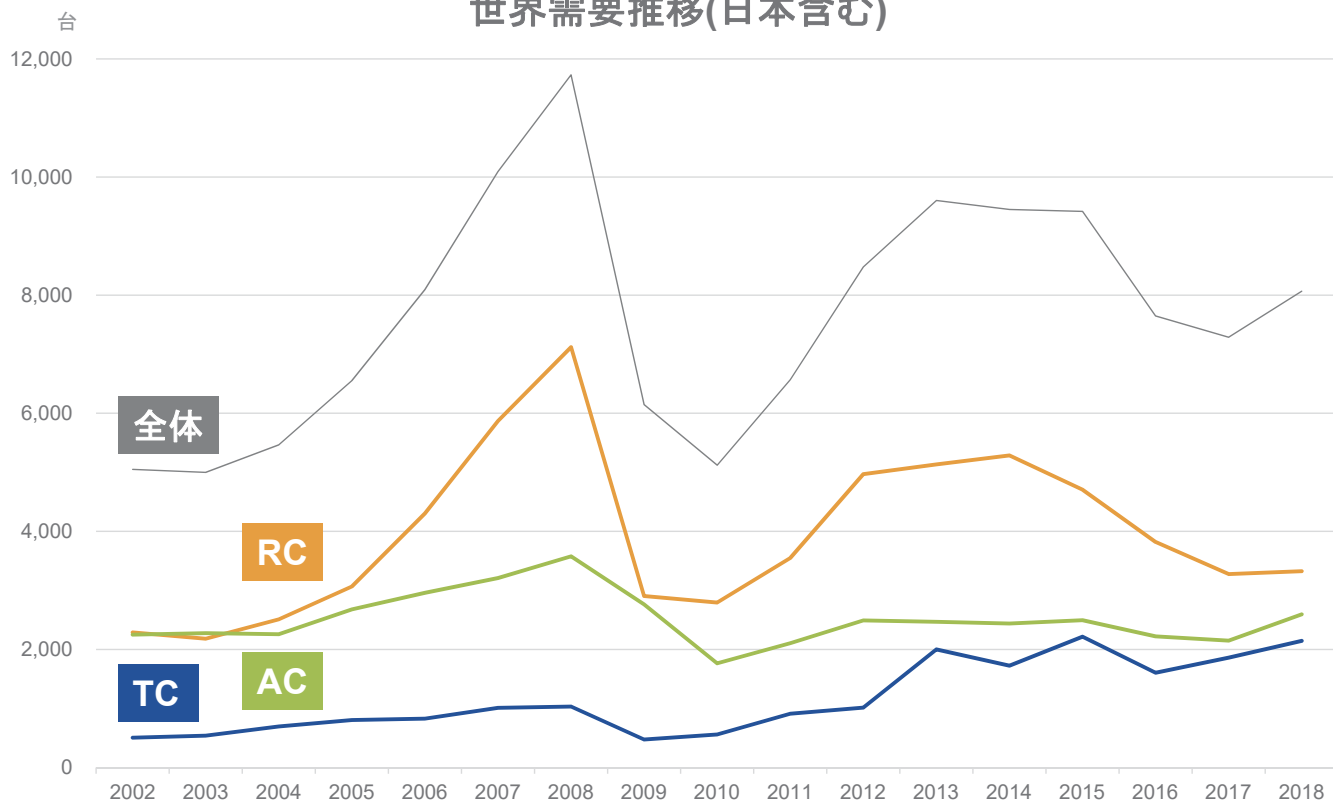
17-18年度苦戦の背景

- 新機種開発遅れ
⇒ 解消
- サプライヤー納期遅延
⇒ 全般的に解消も一部問題あり
- 品質対応
⇒ 出荷安定化、市場対応継続
- ATF600 試験長期化
⇒ 長期化継続

※ AC: オールテレーンクレーン

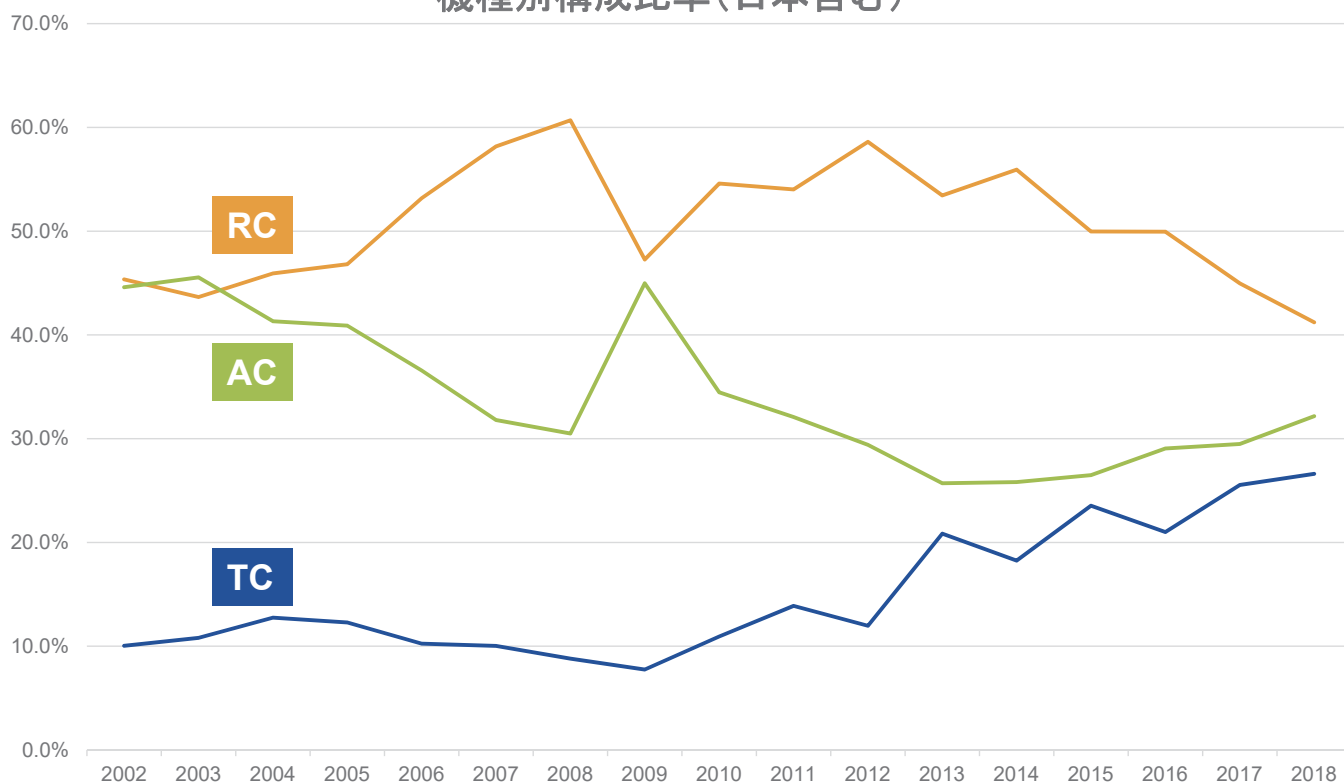
7

世界需要推移(日本含む)



※ RC:ラフテレーンクレーン、AC:オールテレーンクレーン、TC:トラッククレーン

機種別構成比率(日本含む)

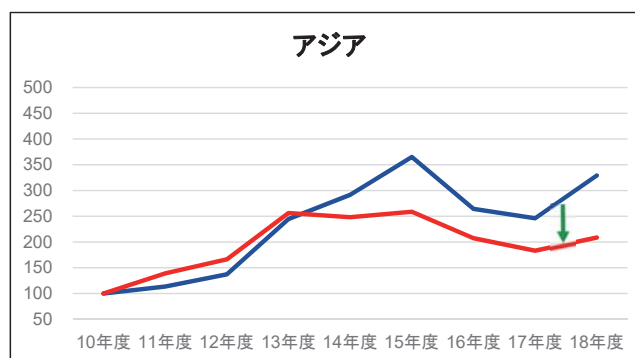
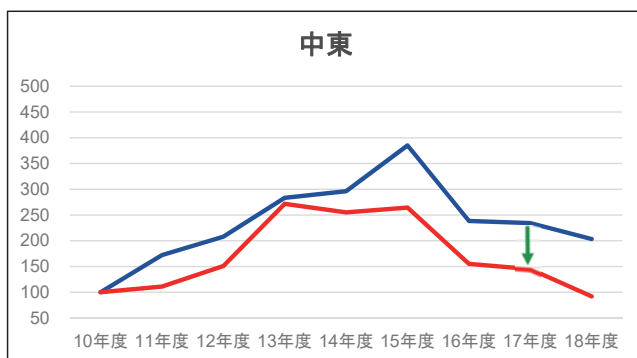
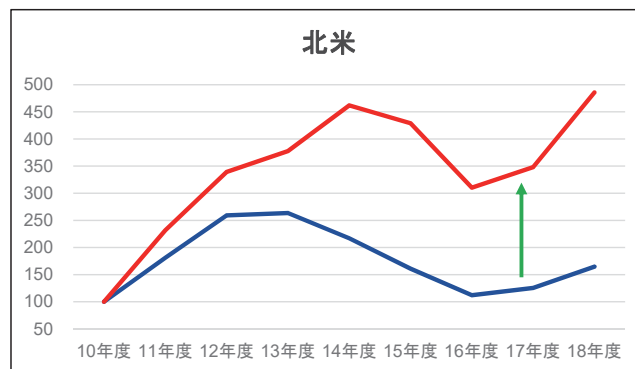
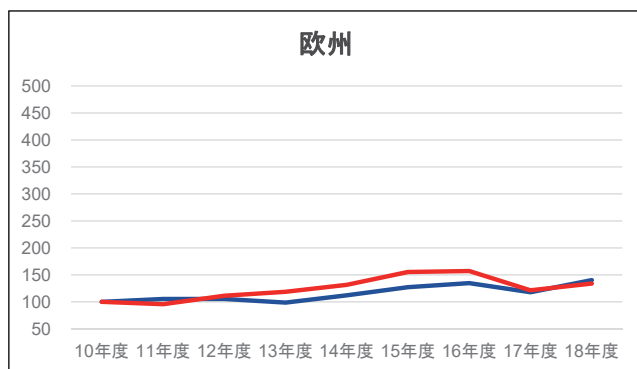


※ RC:ラフテレーンクレーン、AC:オールテレーンクレーン、TC:トラッククレーン

地域別の総需要と売上高推移

2010年度を100とした指数

— 総需要 — 売上高



10

構造変化への対応

- RC：マーケットシェア引き上げ
- AC：Demag買収によりトップ追撃
- TC：インド事業起点に中国勢対抗

- CC : タダノマンティス + Demag超大型
- 小型：
 - 直伸式：日本 + タイ事業(アジア・中東)
 - 折曲式：今後の課題(PM製品)
- 高所：当面日本市場に集中

※ CC:クローラクレーン

12

- シェアアップ、売価改善
- 設計情報統合化、モジュール化
- 部品・サービス体制強化
- 研究開発(人員増強・共同研究等)
- M&A・アライアンス
- その他

13

LE世界No.1を目指すために生産能力の更なる拡大が必要

- 現有生産能力では14・15年度 RC月産200台が限界
- 品質向上のため、海外生産拠点到に主要部品供給

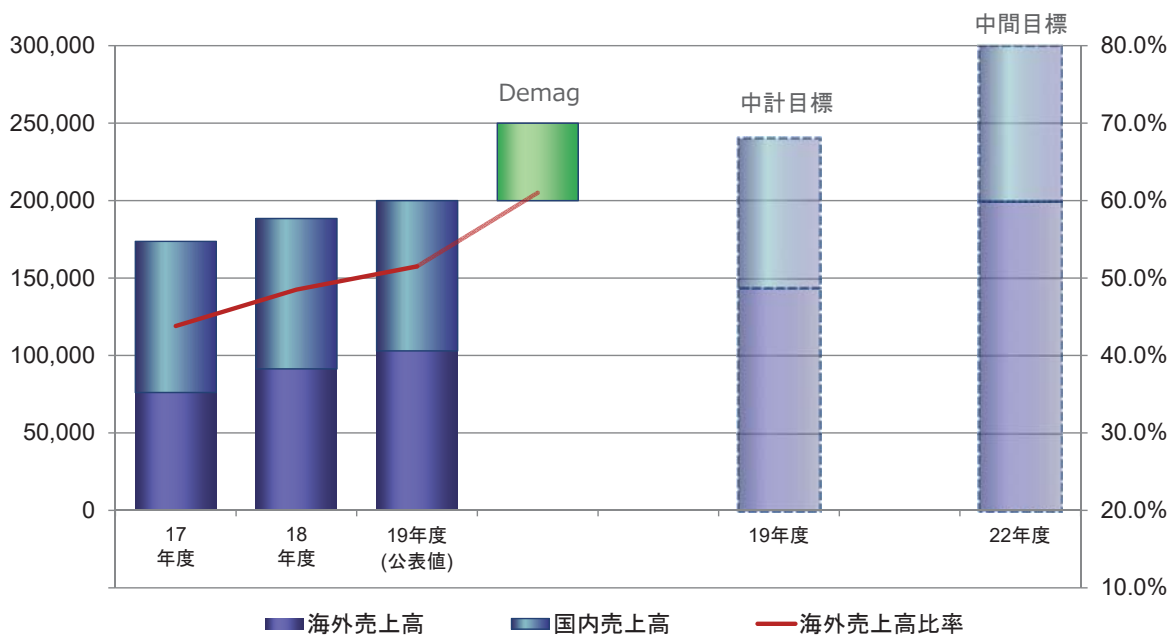
【生產品目】

RC大型(多軸車)、TC、
ブーム・シリンダ等の主要部品



※ RC:ラフテレーンクレーン、TC:トラッククレーン

Demag買収後



中計(17-19)最終目標の売上・海外比率は達成レベルに